

お客様各位

日興アセットマネジメント株式会社

「プロフェッショナル・ステージにおける資産クラスの追加について」

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

プロフェッショナル・ステージは資産運用のグローバル化を捉え、株式・債券などの伝統的資産カテゴリーと、実物資産・アルファ戦略などの新しい資産カテゴリーに分散投資するとともに、各資産カテゴリー内の投資顧問会社や組入れ資産クラスを随時追加・変更することで絶えず進化を図ります。今回、下記の資産クラスを追加いたします。

追加後

資産カテゴリー	比率	資産クラス	投資顧問会社
株式	25%	日本株式 先進国株式 新興国株式	日興アセットマネジメント株式会社 アライアンス・バーンスタイン J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インク
債券	25%	日本債券 先進国債券 先進国ハイイールド債券 新興国債券	日興アセットマネジメント株式会社 ウェスタン・アセット・マネジメント モルガン・スタンレー・インベストメント・マネージメント・インク スタンディッシュ・メロン・アセット・マネジメント・カンパニー・エル・エル・シー
実物資産	25%	世界REIT(不動産投信) コモディティ(商品) インフラ株式(社会基盤) ウォーター(水資源)	ラサール インベストメント マネジメント(セキュリティーズ) エンハンスト・アルファ・マネジメント・エル・ピー マッコーリー・オルタナティブ・インベストメント・リミテッド SAM サステイナブル・アセット・マネージメント
アルファ戦略	25%	フ ア ヘ ッ ク ス ド アービトラージ戦略 マーケット・ニュートラル戦略 ロング・ショート戦略 グローバル・マクロ戦略	ウェルズ・キャピタル・マネジメント クラリベスト・アセット・マネジメント GRT キャピタル・パートナーズ 日興AMインターナショナル・インク*1

※なお、上記の他、市場動向などを勘案して、「iシェアーズ S&P グローバル・エネルギー・セクター・インデックス・ファンド」および「iシェアーズ S&P グローバル公共事業セクター・インデックス・ファンド」に投資する場合があります。


今回変更となった箇所

- ①「ウォーター(水資源)」および「グローバル・マクロ戦略」は11月21日以降順次組入れ予定です。
- ②「ウォーター(水資源)」は、実物資産カテゴリー内の投資対象の分散を図るとともに、有限な資源になりつつある水資源への投資により収益機会の拡大をめざします。
- ③「グローバル・マクロ戦略」は、アルファ戦略資産カテゴリー内の戦略(資産クラス)の分散を図り、収益機会の拡大と安定したアルファ獲得をめざします。
- ④「iシェアーズ S&P グローバル・エネルギー・セクター・インデックス・ファンド」、「iシェアーズ S&P グローバル公共事業セクター・インデックス・ファンド」は、市場動向などを勘案しつつ適宜組入れるとともに収益機会の拡大をめざします。

*1 2007年11月30日付で日興オルタナティブアセットマネジメント・インクと合併し
日興アセットマネジメント アメリカズ・インクとなる予定です。

追加資産クラスの運用会社・特徴および着目点

ウォーター(水資源)

運用会社: SAMサステナブル・アセット・マネージメント 

- 同社は、スイスに本拠を置く水資源関連株投資で先駆している運用会社です。同社が属するSAMグループは、サステナビリティ投資の草分け的存在です。
- 「SAM Sustainable Asset Management(サステナブル・アセット・マネージメント)」という正式名称が示すとおり、サステナビリティ(持続発展性)を重視した投資調査・運用を行なう会社です。グループでの運用資産総額は、運用助言などを合わせて64億ユーロ(約1兆円)です(2006年末)。
- 1995年設立の同社グループは、サステナビリティ投資の草分け的存在であるばかりでなく、擁する専門アナリストや国際的に張り巡らされた外部専門家とのネットワーク、蓄積された世界最大級のデータなど、サステナビリティ投資の分野で他を圧倒しています。1999年にサステナビリティに関する株価指数を米国ダウ・ジョーンズ社と世界で初めて開発したことは、サステナビリティ投資における同社グループの存在感の大きさを示すものです。
- 2001年には、投資対象を水資源関連株に絞った投資信託の運用を開始し、その運用資産規模は2006年末で約8.9億ユーロとなっています。

着目点: 新興国の生活レベルの向上、人口増加に伴う需要増大が見込まれます。
環境意識・水資源意識の高まりに伴う浄化、再利用の活発化が見込まれます。
先進国における水インフラの老朽化に伴う更新需要が見込まれます。

グローバル・マクロ戦略

運用会社: 日興AMインターナショナル・インク

- ヘッジファンド運用会社フェアストリーム・キャピタルのCEO兼CIOを務めたトーマス・ジュターボックをはじめ他のグローバル・マクロ運用経験の豊富なメンバーにより運営されています。
- トーマス・ジュターボックは、20年以上にわたり、モルガン・スタンレーでトレーディングやリスク・マネジメント業務に従事し、1990年1月から2005年5月まではマネージング・ディレクターを務めました。同社在籍中は、グローバル国債、レポ取引、不動産担保証券、米国政府機関債取引等、広範にわたるトレーディング事業を統括しました。また、バンク・オブ・アメリカでは国債のシニアトレーダー、リッチー・キャピタルではグローバル相対価値取引部門の責任者など、要職を歴任しました。ジュターボックは、カリフォルニア大学バークレー校において経済学士号を取得しました。
- グローバル・マクロ指標に基づき各国の為替、債券、株式の先物を利用したロング・ショート(買持ち・売持ち)運用を行ないます。

着目点: アルファ戦略の分散化によるアルファ獲得の安定化をめざします

①「iシェアーズ S&P グローバル・エネルギー・セクター・インデックス・ファンド」はS&P グローバル・エネルギー・セクター・インデックスに連動を目指すETF(米国)です。エネルギー資源は新興国の生活水準の向上、人口増加に伴ない恒常的な需要増大が見込めます。またエネルギー資源は有限であることから有望な投資先と考えています。

②「iシェアーズ S&P グローバル公共事業セクター・インデックス・ファンド」はS&P グローバル公共事業セクター・インデックスに連動を目指すETF(米国)です。株式資産カテゴリー内の資産クラスの分散を図るとともに、株式資産カテゴリーの価格変動の低下をめざします。

※ETF:「上場投資信託」と訳され上記2つのETFはニューヨーク証券取引所に上場されています。

ご参考

弊社設定の「プロフェッショナル・ステージ」におきまして、投資顧問会社である「日興AMインターナショナル・インク」が、2007年11月30日付で「日興オルタナティブアセットマネジメント・インク」と合併し「日興アセットマネジメント アメリカズ・インク」となります。

記

■新会社について

商号: (日本語名)日興アセットマネジメント アメリカズ・インク

(英語名)Nikko Asset Management Americas, Inc.

合併日: 2007年11月30日

事業内容: 資産運用業

所在地: 535 Madison Avenue, Suite 2500, New York, NY 10022, USA

代表者: Frank Orzechowski

株主: 日興米州ホールディング株式会社※ 100% (※弊社が100%出資する海外持株会社)

資本金: 181百万米ドル

運用残高: 121億米ドル(2007年9月末時点での合併前の両社の残高を合算したものです。)

■お申込メモ

商品分類	追加型証券投資信託／ファンド・オブ・ファンズ／自動けいぞく投資適用
お申込単位	お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	取得申込日が下記のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日
信託期間	平成29年6月12日まで(平成19年7月31日設定)
決算日	毎年6月12日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
ご解約価額	解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
ご解約不可日	解約請求日が下記のいずれかに当たる場合は、解約請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日
ご解約代金のお支払い手数料等の概要	原則として、解約請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。 お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金(解約)時にご負担いただく費用>

お申込手数料	お申込手数料率は、3.15%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
換金(解約)手数料	ありません。
信託財産留保額	換金時の基準価額に0.2%の率を乗じて得た額(1口当たり)
<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>	
信託報酬	純資産総額に対して年率1.92815%(税抜1.8574%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.2075%(税抜1.15%)、投資対象となる各投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.72065%(税抜0.7074%)程度となります。お客様が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。この他に、投資対象とする投資信託証券においては、成功報酬、固定報酬などがかかる場合があります。それに伴ない、実質的な信託報酬率も変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	日興AMインターナショナル・インク ※2007年11月30日付で「日興オルタナティブアセットマネジメント・インク」と合併し、「日興アセットマネジメント アメリカズ・インク」となる予定です。
受託会社	みずほ信託銀行株式会社(再信託受託会社:資産管理サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] http://www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時、半休日となる場合は午前9時~正午。土、日、祝・休日は除く。)

■お申込みに際しての留意事項**○リスク情報**

- ・当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に株式、債券、不動産投信およびコモディティ連動証券など値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の株式および債券などは、先進国の株式および債券などに比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。
- ・投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- ・一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。
- ・不動産投信は、不動産を取り巻く環境、不動産市況や金利動向、マクロ経済の変化など様々な要因で分配金や価格は影響を受けます。
- ・コモディティ連動証券の価格は、商品（コモディティ）市況変動の影響を大きく受けます。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・一般に新興国の株式、債券および不動産は、先進国の株式、債券および不動産と比較して、市場規模や取引量が少ないため、相対的に流動性リスクが高いと考えられます。

【信用リスク】

- ・一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・一般に公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般にハイイールド債券は、上位に格付された債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じる可能性が高いと考えられます。
- ・一般に新興国の債券は、先進諸国の債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高いと考えられます。
- ・不動産投信が支払不能や債務超過の状態になった場合、またはそうなることが予想される場合、大きな損失を被る可能性があります。また、金融商品取引所等が定める一定の基準に該当した場合、上場が廃止される可能性があります。

【為替変動リスク】

原則として、為替ヘッジを行なわないため、外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、為替ヘッジを行なうにあたっては、ヘッジコストが発生します。また、為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。なお、ヘッジコストとは、為替ヘッジを行なう通貨の金利と円の金利の差に相当し、円の方の金利の方が低い場合には、この金利差の分だけ収益が低下することになります。

【カントリー・リスク】

- ・投資対象国である新興国における非常事態など(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。
- ・ファンドの投資対象有価証券が上場または取引されている諸国の税制が先進国と異なる面がある場合があります。また、それらの諸国における税制が一方的に変更されたり、新たな税制が適用されたりすることもあります。以上のような要因は、ファンドの信託財産の価値に影響を与える可能性があります。

【デリバティブリスク】

金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。また、取引相手の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できず損失を被るリスク、取引を決済する場合に反対売買ができなくなるリスク、理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなるリスクなどがあります。

【「アルファ戦略」におけるリスク】

アービトラージ戦略、マーケット・ニュートラル戦略およびロング・ショート戦略およびグローバル・マクロ戦略などのアルファ戦略では、買い持ちしている銘柄が、売り持ちしている銘柄よりも上昇率が高いまたは下落率が小さい場合、収益を得ることができますが、買い持ちしている銘柄が売り持ちしている銘柄よりも相対的に下落した場合、損失が発生します。なお、アルファ戦略においては、原則として為替ヘッジを行いません。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

○その他の留意事項

- ・当資料は、日興アセットマネジメントが「プロフェッショナル・ステージ」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
 加入協会:(社)投資信託協会
 (社)日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	(社)投資信託協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
シティバンク銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第623号	○		